

# 乳がん高度検診・治療センター NEW-す NO.95



2022.4

## 腹臥位トモシンセシスガイド下マンモトーム®装置を導入しました！

### マンモトーム®検査とは？

マンモグラフィ検査で石灰化が描出された場合、良性か悪性かの読影診断を行います。しかし、良悪性の読影診断が難しい場合も多く、その場合、数年間の経過観察を行うこととなります。その結果が良性の場合でも、経過観察中は“悪性かもしれない”との不安を抱えて過ごすことになり、経過観察後に悪性と診断される場合があります。一方でマンモトーム®検査を行えば、その時点において高い精度で良悪性の診断をすることができます。（詳しくは乳がんセンターニュースNo. 60を参照）

### 「腹臥位トモシンセシスガイド下マンモトーム®装置」とは？

高精細の検出器であるフラットパネルディテクターと乳房断層像を生成するトモシンセシスを用いて腹臥位でマンモトーム®検査を行う装置です。日本はもちろんのこと海外においても最先端の装置であり、大阪では当院を含めて2台しか導入されていません。従来、当院で使用していた装置は「腹臥位式ステレオガイド下マンモトーム®装置」であり、左右15°のステレオX線撮影によって採取する石灰化の位置を計算していました。しかし、左右2枚のステレオ画像で同一の石灰化と判断して目標を設定する必要があり、その判断が非常に難しい場合や、石灰化を描出する装置の能力が低いために石灰化が見えない場合があるなど

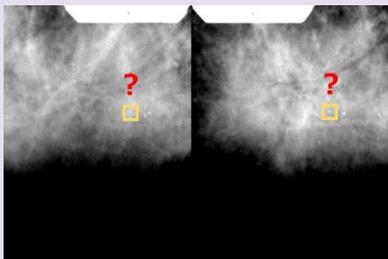
の欠点がありました。しかし、新たに導入した装置ではトモシンセシス（乳房X線断層撮影）を使用して乳房断層面で石灰化の位置を設定するため、目標とする石灰化を間違えることはありません。また、高精細の検出器で石灰化を描出するため、淡い石灰化が見えなくなることもありません。そして、腹臥位で検査を行うため、検査中の貧血や気分不良のリスクが非常に低くなります。さらに、360°方向から採取が可能のため、太い血管を避けた組織採取によって出血を最小限に抑えることや、非常に広い範囲で石灰化の採取が可能です。

したがって、マンモトーム®検査が安全かつ安心に、従来よりも短時間で正確に実施することができます。

### 他院からのマンモトーム®検査のご依頼をお受けします

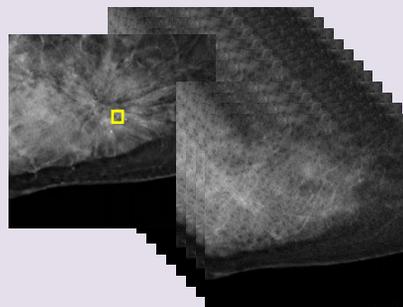
他院で受診されている患者様でも、当院の最先端装置を用いたマンモトーム®検査を受けて頂くことができるように準備をすすめており、近々ご案内をさせていただく予定です。

検診マンモグラフィ  
撮影認定診療放射線技師 矢竹秀稔



### 従来のステレオマンモトーム®

石灰化が淡い場合は見えない。  
石灰化が多数の場合、左右の画像で同一石灰化を同定し難い。



### 新トモシンセシスマンモトーム®

断層面で石灰化の位置を把握するため、目標とする石灰化を間違うことがない。フラットパネルディテクター（高精細検出器）を用いているので淡い石灰化も鮮明に見える。



市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865